

SIFA ニュース



NO. 121

2024 年度 夏号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

事務所移転・営業日時変更

鈴鹿国際交流協会は、令和6年7月23日（火）より事務所を移転し、それに伴い営業日・時間を次のとおり変更します。

1 移転先

鈴鹿市飯野寺家町810番地 鈴鹿市文化会館 2階
※ 参照：<https://www.suzuka-hall.jp/cultural-hall>

2 営業日・時間 (新・旧対照表)

	移転前(7/22 まで)	移転後(7/23～)
営業日	月曜日～金曜日	火曜日～土曜日 (文化会館休館日を除く)
営業時間	午前8時30分～午後5時15分	午前9時～午後5時15分



3 事務所移転に伴う臨時休業等のお知らせ

7月15日（月・祝）から7月22日（月）の間は、事務所移転に伴い、次のとおりの営業とします。御迷惑をお掛けいたしますが、御了承いただけますようお願いいたします。

(7/15～7/22 営業案内)

月日	営業時間等	
7月15日(月・祝)	休み	
7月16日(火)	休み	
7月17日(水)	営業	○電話・メールのみ対応
7月18日(木)		※ 現事務所(鈴鹿市役所 別館第3)は、無人になります。
7月19日(金)		
7月20日(土)	休み	
7月21日(日)	休み	
7月22日(月)	休み	
7月23日(火)	通常営業開始	

※ 詳しくは、鈴鹿国際交流協会HP (<http://www.sifa.suzuka.mie.jp/>) を御覧ください。

2期目のグローバルプログラム

私たちは JICA 海外協力隊として 2025 年 1 月から 2 年間ペルーで活動予定です。JICA グローバルプログラムの実習生として 5 月から 7 月中旬まで SIFA でお世話になります。

Hola! 中島花厘（なかしま かりん）です。ペルーのイカ州チンチャ郡で卓球の先生をする予定です。地元は北海道で、初めての鈴鹿生活を満喫しています。鈴鹿市では、牧田・桜島・河曲の日本語教室に参加したり、地域の卓球場へ行ったり活動しています。7 月中旬までおりますので卓球がお好きな方、ぜひラリーしましょう!



こんにちは! 齋藤美友（さいとうみゆう）です。リマ市チョリーヨス区、日ペルー友好国立障害者リハビリテーションセンターに栄養士として派遣予定です。現在、「食を通して多文化共生を考える」をテーマに活動しています。鈴鹿市の皆さんと関われる日々が嬉しいです。残り少ない期間ですが、このステキな街を活動を通してたくさん発信していきたいと思っています。



夏休みの宿題支援教室 ボランティア募集

お家の人の関わる部分が多い夏休みの宿題は、外国につながる子どもたちにとって分からないことを尋ねる機会が限られ、取り組めないことがあります。そこで SIFA では宿題支援教室を今年も開き、外国につながる子どもたちの学習に伴走していただくボランティアを募集します。1 日からの参加もできますので、ぜひご検討ください。

と き・ところ: ※時間:9:15-11:45

桜島小学校 (7/30, 31, 8/1, 2, 4, 5, 7, 8, 9 日) 9 日間

一ノ宮小学校 (7/30, 31, 8/1, 2, 4, 5, 7, 8, 9 日) 9 日間

鈴鹿工業高等専門学校 (8/19, 20, 21, 23, 26, 27, 28, 29, 30) 9 日間

※前半の小学校は、2 校のうちどちらか選択の上、参加していただきます。

※学校の設備等の点検の為、活動を取りやめる日を設ける事が有ります。

内 容: ワーク、毎日の宿題(一行日記、生活カード、計算カード等)、ポスター、読書感想文、習字などの支援

申込み: 7 月 10 日までに下の QR コードから登録フォームに記入するか、件名を「夏休みの宿題ボランティア希望」

とし、氏名・電話番号・メールアドレスを記入の上、本協会までメールでご連絡ください。

【ボランティア説明会】※初めて活動に参加する方対象

と き: 7 月 13 日(土) 13:30~14:30

ところ: ジェフリーすずか 研修室 1 AB

【オンライン (Zoom) 研修会】※自由参加

テーマ: ボランティアをする上で大切なこと

と き: 7 月 18 日(木) 19:00~20:30

講 師: 中尾 万弥氏(鈴鹿市教育委員会 日本語教育コーディネーター)



<申込フォーム>

わいわい春まつり

5年ぶりにわいわい春まつりを鈴鹿ハンターで行ないました！午前中は天気が持ち、約3,000人の来場者が足を運び頂きました。

<オープニングセレモニー>



募金は合計 66,211 円となりました。集まった義援金は能登半島地震災害義援金として 19,242 円、台湾東部沖地震救援金として 18,809 円、ウクライナ支援 28,160 円を各窓口・担当者へお届けしました。

<屋外ステージ>

11 団体のパフォーマーが祭りを盛り上げました。最後には会場の皆様と一緒にサンバを踊りました。



<体験コーナー>



おいん
やさしい日本語で交流



起震車



ALT 英語の遊び



飯野高校 砂絵



JICA
くるみボタン作り



民族衣装
試着



三重県警
キッズ制服



鈴とも 災害への備え&
マラカス作り

<国際屋台村・ブース>



<お礼>

わいわい春まつりの実行委員(30名)をはじめ、当日ボランティア(53名)、協賛企業(31社)、参加者の皆様、イベント開催のために力をお貸し頂き、ありがとうございました。



異国(9カ国)のおいしくて楽しい20店舗が並び、弁天山公園をにぎわせました。



日本語ボランティア養成講座

5月18日(土)～6月22日(土)に、日本語ボランティアを始めるための第一歩として、日本語を外国語としてとらえなおして、分かりやすくお伝えできるようになることを目的に講座を開催しました。

私たちが学んだ国文法を一度離れ、名詞・形容詞・動詞・助詞について日本語のテキストを見ながらどのように習得していくのかを学びました。助詞の回では、矢印を使って時間の流れを表したり、まるで囲んで範囲を明示するなど、視覚で言葉を考える時間になりました。次の模擬授業では、参加者の皆さんがこれまで学んだことを活かしてみんなの前で授業をされました。皆さん難しいと思われながらも、日本語支援活動に手ごたえを感じられる機会になりました。

また、日本語を教える事以外に、参加された皆さんに外国語を学ぶ学習者の気持ちを体験していただくために、鈴鹿大学のアティフ氏(パキスタン出身)を招きウルドゥ語でウルドゥ語を勉強する講座も行いました。何度も繰り返すこと、ジェスチャーを交えてお話しする事など、語学学習のエッセンスが詰まった時間となり、最後には一人ずつウルドゥ語で自己紹介できるようになりました。

本講座に参加された皆様が、今後、地域のボランティア日本語教室で活躍されることを願っています。

今回講座に参加できなかった方で日本語支援活動に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、詳しくお伝えしますのでSIFAまでご連絡ください。



ブラジル人学校 EAS で日本文化紹介

昨年から引き続き、ブラジル人学校 EAS から出前講座の依頼があり、「生徒が少しでも日本の社会へ参加できるように」と、5月27日に日本文化体験(盆踊り・けん玉)を行いました。

まず、8組に分かれて、けん玉リレーに挑戦、使い方が分からなくても楽しそうでした。

会場には地域で行われる夏祭りのように中央に舞台を作り、講師の北川清美氏に上がってもらって盆踊りの振り付けの指導をしました。最近流行っている YOASOBI の「アイドル」と、「ダンシングヒーロー」を踊りました。リズムが早くて最初は戸惑うこともありましたが、動きは簡単でしたので、参加者は楽しくリノリでした。



公益財団法人鈴鹿国際交流協会(SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸 1-17-5 別館第3 TEL:059-383-0724 FAX:059-383-0639

✉ sifa@mecha.ne.jp

URL: <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>